



### 初詣のご案内

当社社では例年通り御本社、御旅社ともに  
一月一日 午前0時〜午後五時頃まで開門  
いたします。また、新年のお守り、御神札など  
の授与も午前0時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、新年の無病息災、開  
運招福を祈念して初詣にどうぞお参り下さい。

### 新年祈禱について

新年のご祈禱につきましては必ず年内にお  
電話等でご予約下さい。飛び入りではお断り  
致しております。なお、団体での新年祈禱に関  
しては全て御本社で執り行っております。

また一月四日から十五日にかけては、茶屋  
町の御旅社ではご祈禱はお受け付け出来ませ  
るのでご注意下さい。

御本社(神山町)〓〇六一六三六一―二八八七  
御旅社(茶屋町)〓〇六一六三七一―一五八六

### 御神札の祀り方

基本的には、お受けになられる方が一番大  
事にしたい神さまの御神札をお祀りになられ  
れば結構ですが、本義に基づいてお祀りされ  
るのであれば、

- ① 伊勢の神宮の御神札(神宮大麻)
- ② 氏神さまの御神札(梅田の場合は当宮)
- ③ 個人的に崇敬されているお宮の御神札

(商売繁盛であればお稲荷さんなど)  
の順番でお祀りされると良いでしょう。



三社造りの神棚の場合



一社造りの神棚の場合  
(神宮大麻を先頭に、  
重ねてお祀りします)

### 御神札と御守について

新年には新しい御神札と御守を神社で受け  
ますが、どちらが良いのかといったお問い合  
わせを近頃よく頂きます。答えから申し上げ  
ますと、どちらでも結構ですが、御神札はご  
家族や団体向け、御守は個人向けと捉えて頂  
いても良いかと思えます。御神札は神棚を据  
えて、そこにお祀りしますので、ご家族全体を  
神さまがお見守りになられるという形になり、  
御守はそれぞれの身の回りのものに付ける場  
合が多く、間近で神さまに見守って頂くとい  
ったものとなります。

ですので御神札は、地元の氏神さまのもの  
を必ずお祀りし、御守も地元の神社が第一で  
すが、それぞれの願いと御神徳に合ったお宮  
の御守を別に受けられても良いでしょう。  
ただ、どちらも神さまからお授け頂いたも  
のですので、粗末な扱いはする事は厳禁です。  
ほこりをかぶったままの御神札や、擦り切れ  
て汚れてしまった御守などにならないよう注  
意しましょう。

なお、一年間お祀りした御神札や、御守はそ  
の年の暮れ、または初詣の際に感謝の祈りを  
御神前でお込めしてからお返しし(古札納め所  
などにご返納下さい)、その後で新しい新年の  
御札や御守をお受けしましょう。

### 今月の暦

#### 【祭祀】

年越大祓(廿一日)：半年間の罪穢れを祓う  
除夜祭(卅一日)：新年も引き続きのご加護を祈  
念し、初日の出が昇るまで

#### 【節気】

大雪(七日)：寒冷地では雪が激しく降る頃  
冬至(廿二日)：日中の時間が最も短い頃  
灯し続ける火(霊)を熾す神事

#### 【雑節】

針供養(八日)：日頃使う針に感謝。裁縫上達  
事始め(十三日)：お正月の準備を始める日  
終い天神(廿五日)：今年最後の天神様の縁日

#### 【大安】

十二月三日、七日、十三日、十九日、廿五日、卅一日

#### 【祝日】

天皇誕生日(廿三日)：平成最後の天長節

網敷天神社 SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)

白江 秀 知

